

北海道胆振東部地震

2018年9月6日に北海道地方中東部を震源として最大震度7の地震が発生しました。また、地震の影響により道内では停電が発生し、復旧に時間を要しました。この災害を受けてフクダライフテックグループでは関係各署と密に連携し、在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法を行っている患者様を中心に安否確認を実施するとともに、災害用備蓄ボンベ300本等を供給しました。



災害用備蓄ボンベ300本を自衛隊輸送機で道内へ移送

各種交通機関が止まる中、厚生労働省、自衛隊と協働し、空輸での輸送ルートを確認しました。近隣のグループ会社から災害用備蓄ボンベ他必要品目を収集し、9/8に自衛隊松島基地より新千歳空港へ移送。その後道内の患者様へ供給しました。



[備蓄ボンベ拠点での発送準備の様子]

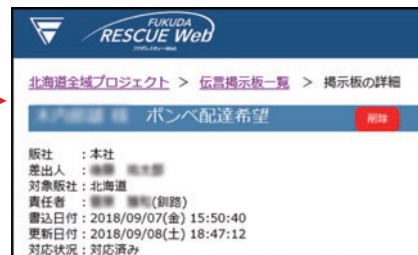


災害対策システム「フクダレスキュー Web」を活用し安否確認、物資供給を迅速に実施

当社の災害対策システム「フクダレスキュー Web」をもとに在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法を行っている療養者様の安否確認を実施しました。治療器を24時間使用している療養者様の確認から優先して進め、9/9にはHOT・HMVの対象療養者の確認を完了しました。また停電の影響により機器が使用できない状況が続いたため、酸素ボンベの供給など緊急度の高い案件については同システム上で情報を共有し、その後の対応を実施しました。

北海道胆振東部地震における対応

9/6 3:07	<ul style="list-style-type: none"> ● 地震発生(最大震度7) ● 療養者の安否確認を開始
16:20	● HMV24時間使用の療養者の安否確認を完了
18:00	● HOT24時間使用の療養者全員へ電話での安否確認を実施。停電の影響もある中、半数の確認を完了
9/8	● HOT24時間使用の療養者の安否確認を完了
9/9	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象療養者の安否確認を完了 ● HOT・HMV患者を中心に860名の安否確認を完了



重要案件は伝言掲示板で情報共有し、対応しました

当社における近年の主な災害活動記録

2016年

熊本地震 [4月14日～4月16日]

- 療養者安否確認:約600名
- 地震発生翌日に非常用備蓄ポンペを発送し、約300本で対応

東京停電 [10月12日 15:30頃]

- HOT24時間使用・HMV療養者を中心に、約150名の安否確認を実施

鳥取地震 [10月21日 14:07頃]

- 療養者約650名の安否確認を実施



2018年

島根地震 [4月9日 1:32頃]

島根県西部にて最大震度5強の地震発生

- 療養者約150名の安否確認を実施



大阪北部地震 [6月18日 7:58頃]

大阪府北部にて最大震度6弱の地震発生

- 療養者約1,100名の安否確認を実施



西日本豪雨災害 [6月28日～7月8日]

西日本各地で集中豪雨による土砂災害、浸水が相次いで発生

- 福岡、山口、岡山、広島、香川、愛媛、高知、兵庫、大阪、京都にて療養者約5,700名の安否確認を実施
- 酸素ポンペ他、必要物資を供給し対応にあたる



いざという時の安全・安心のため
私たちはこれからも活動していきます